

# 重要文化財「吉村家住宅」

11月2日(火)・3日(祝)に特別公開

重要文化財「吉村家住宅」の秋季特別公開が、11月2日(火)・3日(祝)の2日間開催されます。時間は、10:00～12:00、13:00～15:00までで、見学料は500円です。(小学生以下は保護者同伴・中学生以下は無料)

今回も予約制で実施されますので、ご希望の方は社会教育課世界遺産登録準備室担当へ電話(958-1111)またはFAX(956-7196)にてお申し込みください。

5,280㎡(約1,600坪)の敷地には、主屋、長屋門や土蔵などが、昔日のおもかげをとどめて並んでいます。当日、主屋では、つり部屋やカマドがある土間、主人とその家族が住んだ居室、古風な興寄せの玄関、書院造りの座敷、意匠を凝らした明障子や欄間の透かし彫り、長押の釘隠し金具、襖の引き手などがある客室部などを見学できますので、ぜひお出かけください。

※午前は10:30分頃、午後は13:30分頃から吉村さん(ご当主)の説明を予定しています。



(社会教育課 世界遺産登録準備室担当 内線 4482)

## 市民ギャラリー 文化財資料展

### 世界遺産国内暫定一覧表登載記念展示「描かれた古市の古墳たち」

本年6月18日に世界遺産国内暫定リストへの登載が決定した古市古墳群について、主に江戸時代に描かれた古墳をパネル展示し、当時の人々に古墳がどのように見えていたのか、古墳への思いや古墳との関わり、伝承などを紹介しています。

あわせて、古市古墳群から出土した埴輪や土器、副葬品などを展示し、当時の技術や文化、交流などについて説明しています。



期間：平成22年12月5日(日)まで【入館無料】

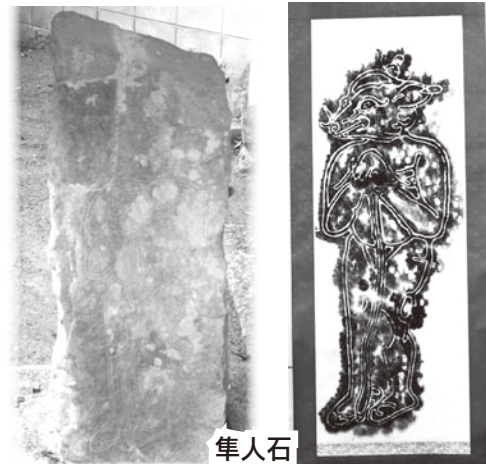
場所：市役所東玄関横

開館：9:00～17:00 土、日も開館(※祝日は休館)

問合せ：世界遺産登録準備室(内線 4481)

# 羽曳野市有形文化財に指定されました。

駒ヶ谷の杜本神社<sup>もりもと</sup>の境内には、有名な「隼人石<sup>はやと</sup>」をはじめとして、「日谷稚宮<sup>ひたにわかみや</sup>の碑」や「伝清少納言塔<sup>せいしょうなごん</sup>」など、数々の石造物が残されています。これらは江戸時代の後半、杜本神社に隣接して存在した金剛輪寺<sup>こんごうりんじ</sup>の住職であった阿闍梨<sup>あじかり</sup>(徳の高い僧)覚峰<sup>かくほう</sup>(1729～1815年)が造立や整備に関わったと考えられます。



隼人石

が造立や整備に関わったと考えられます。

覚峰は国史や和歌などの学芸を深く研究した学問僧で、これらの石造物は彼の学問的な研究成果にもとづいた歴史的記念物、歴史の顕彰碑と理解することができます。

これらの石造物は江戸時代の学者、覚峰の業績を示すとともに、羽曳野市域における文芸の興隆と広まりを明らかにする歴史資料であり「阿闍梨覚峰関係資料」として指定し、保護をはかってまいります。

## 登録有形文化財「畑田家住宅」

11月14日(日)に一般公開【10:30～12:00】

国の有形文化財に登録された畑田家住宅は、羽曳野市郡戸の旧家の建物で、田の字型の主屋や長屋門とそれに続く2棟の蔵や納屋などは明治時代の屋敷構えの趣きをよく残しています。この貴重な文化財が一般に公開されますので、奮ってご参加ください。



同日開催 教育フォーラム【13:00～17:00】

「これからの教育～変えねばならないこと、  
変えてはならないこと～」

パネラー 羽曳野市教育委員会 藤田博誠教育長  
小・中学校の校長経験者の方々他

司会 畑田耕一(畑田家当主・大阪大学名誉教授)

定員 先着25人 参加費 無料

場所 羽曳野市郡戸470 畑田家住宅

電話 072-955-4101

申込 往復はがきに「一般公開」「教育フォーラム」(両方可)、住所・氏名・年齢・電話番号・返信用宛名を書いて〒583-8585(住所記入不要)羽曳野市教育委員会社会教育課文化財担当宛折り返し整理券を返送します。(内線 4481)

締切 11月5日まで

※内容の問い合わせは水曜日以外の午後8時以降に072-762-7495までお願いします。